

【教育文化学部】『卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）』

教育文化学部では、次のような知識、技能、態度を身につけた学生に「学士（学校教育）」または「学士（地域文化）」の学位を授与します。

1. 人間発達を中核とした、幅広い諸科学の基礎的な体系の理解
2. 日本語や他の言語を適切に運用する能力
3. さまざまな人々と協働するためのコミュニケーション能力および ICT 活用能力
4. さまざまな情報を適切に収集し、科学的・批判的に分析・処理し、創造的に発信する能力
5. 得られた知識、情報を活用し、人間存在をめぐる現代的課題を総合的、多面的に探求する能力
6. 人権が尊重され、平和で民主的、かつ持続可能な社会の進展のために、自らの知識、能力を活用し、人々と協力しながら主体的に行動する態度
7. 主体的に学び続け、専門的な知の継承・発展・創造に寄与しようとする態度
8. 社会人として、また専門的職業人としての高い倫理観、使命感、責任感をもって行動する態度

学士（学校教育）

1. 学校教育に関する専門的知見を有し、地域の教育と人々の成長・発達を支え、発展させていくこととする使命感、責任感
2. 教育・学習にかかわる基礎的な理論や原理を理解するとともに、授業デザイン、教材研究、ICT 活用を含む授業技術、実践省察など、基礎的な教育実践力
3. 人間、特に子どもを深く共感的に理解し、個々の成長発達を支援するとともに、健全な集団・組織づくりに寄与することができる能力
4. 子ども、保護者、地域住民、そして仲間とのコミュニケーション能力を有し、よりよい人間関係を構築していくことができる能力
5. 自然科学や人文科学、芸術、スポーツが人間にもたらす価値を理解し、それらの創造・発展に寄与することができる能力

学士（地域文化）

1. 地域社会の風土・文化に対する確かな見識と社会的課題を解決するために必要な幅広い教養
2. 社会のニーズを理解し、ローカルとグローバルの双方向的な視点から問題解決を図ることができる能力
3. 日本と世界の多様な文化を理解し、人間社会のあり方を深く考察することができる能力
4. 一定水準の外国語運用能力を有し、文化的背景を踏まえて、異なる文化圏に属する人々とコミュニケーションが図れる能力
5. 生活の質的向上や、地域における文化等の活性化および新たな生活文化の創造を主体的に担おうとする態度
6. ディベートやプレゼンテーションを通して、自らの考えを明確に説明できる能力
7. 高いコミュニケーション能力と協調性をもって、協働しながら諸課題の解決に取り組むことができる能力